ふくおかけん
PTA新聞
1月号
鬼頭 良典

発 行 所／福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人／鬼頭　良典
編　集／広報委員会
県P連ホームページアドレス
https://fukuokaken-pta.jp

新年あけましておめでとうございます

福岡県PTA連合会会長と会務担当副会長より、新年のご挨拶と抱負をお届けします♪

新しい1年も、子どもたちと笑顔あふれる毎日になりますように。
今年の私のテーマは「全力笑顔（ぜんりょくえがお）」
どんな時も笑顔を忘れず、楽しく前向きにがんばります！
七福神のひとりとして、皆さんに“笑顔の福”をお届けできたらうれしいです
本年もどうぞよろしくお願いいたします　（矢野 愛）

午年は「勢いよく前進する年」ともいわれます。元気に駆ける馬のように、子どもたちが前向きに、そしてのびのびと成長していく1年であってほしいと願っています。
私たちPTAも、子どもたちのよりよい学びや環境づくりのため、一歩一歩確実に前進していけますよう力を合わせてまいりたいと存じます。変わらぬご支援･ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
皆さまにとって、健康で実り多き1年となりますようお祈り申し上げます。　（下原 仁美）

今年度も多くを学びながら挑戦を重ねていきたいと思います。
支えてくださる方々への感謝を力に、県PTAが多くの仲間にとって“頼れる存在”と感じていただけるよう頑張ります。
HPや新聞もさらに充実させ、楽しいものにしたい！
（三木 聖隆）

「何事もやった分だけ！」と口ぐせのように話している私。チャレンジしていく子どもたちに負けないように学び続けていきたいです！
皆さんに支えられての今があることに感謝の心を忘れずに、より良いPTA活動を行っていけるよう努力していきますので本年もどうぞよろしくお願いいたします。
（松尾 菜美子）

今年も皆さまそれぞれの学校のPTA活動が、楽しく充実し、笑顔あふれ、勢いとエネルギーに満ちあふれ活発化し、そして、皆さまが自分自身を好きでいられる選択をし続けられるように、皆さまの声に、耳と心を傾け、寄り添い、支え、時には道しるべを示しつつ、共に前に進んでいけたらと思います。
皆さまが笑えば、子どもも笑う、そして地域が明るくなります！
皆さまと共に笑顔で、1日1日を楽しんでいけたらと思います！
本年もどうぞよろしくお願いいたします。　（郷原 真一）

2026年は「午年」。今年も福岡県PTA連合会、元気にスタートです！
本年も「子どもたちの笑顔のために！できる人が、できることを、できるときに。」を合言葉に、皆さま方から必要とされる組織づくりをめざして、マラソンのようにコツコツと走りぬいていきます。
2026年もPTA活動を共に創っていきましょう！！
（会長　鬼頭 良典）

今年は私自身が誰よりも一番素晴らしい年になるよう、いろんなことに取り組んでいこうと思います。自分が一番楽しくないと、周りを楽しくさせることなんてできませんからね！
そして、たくさんの人に出会って、話して、笑って、笑わせて…、アイツと出会って良かった、アイツといて楽しかった、と思われるようになりたいと思います。
PTA活動って大変なこともあるけど、それの100倍くらい楽しかった！と思えるよう一緒に頑張りましょう。
皆さんにとって笑顔に満たされる一年になりますように。
（藤原 健太郎）

1月号 もくじ

1面▶▶▶ 新年のごあいさつ／子育て研修会のご案内
2面▶▶▶ 県P×県・県教委 陳情対談会・教育懇談会報告／県教委通信
3面▶▶▶ 日P石川大会レポート／九P福岡市大会レポート
4−5面▶▶▶ 単Pが主役！PTA通信
6面▶▶▶ キラリ✨ オンリーワンP／6ブロック母親代表研修会レポート
7面▶▶▶ 食べるってなあに／PTA学校給食教室レポート
8面▶▶▶ ナニコレ珍P百景／科学館情報／動画配信のご案内

令和7年度

子育て研修会

～“新”家庭教育宣言実践報告会～

参加対象
PTA会員（先着300名）

ご参加ください♪

□日時　令和8年2月23日（月・祝）
13：00～16：15

□会場　大野城まどかぴあ（1階 多目的ホール）
（大野城市曙町2－3－1）

プログラム

◎12：00～　受付開始
◎13：00～13：10　開会行事
◎13：10～14：10
“新”家庭教育宣言実践報告会
太宰府市立水城西小学校PTA／
大木町立大莞小学校父母教師の会／
みやこ町立伊良原小学校PTA・伊良原中学校PTA
◎14：10～14：25
“新”家庭教育宣言のぼり旗作品　表彰式
◎14：30～16：10
基調講演「対話のトリセツ
～家族をつなぐことば、脳を育むことば～」
講師：黒川 伊保子 氏（株式会社 感性リサーチ 代表取締役）
◎16：10～16：15　閉会行事

参加無料　申込期限：令和8年1月30日（金）

●託児あり。対象は生後3か月～未就学児まで。人数制限あり・無料。希望の方は事前にお申し込みください。

同時開催

子ども体験学習事業

□会場　大野城まどかぴあ
（303・304会議室）

□内容　木育講座

五感を通した直接的な体験を通して、豊かな人間性や社会性を育むことを目的とする事業です。今回は地域の木材を活かし、木とふれあう体験型の木育講座を実施します。（子どもたちだけで活動します）
◎小学生チーム：ビー玉迷路づくり
◎中学生チーム：スマホスピーカーづくり
※参加対象：福岡県PTA連合会に所属する学校に在籍する児童生徒（小学校1年生～中学校3年生）100名（事前申込制）

すべての
お申し込みはコチラから➡

県P × 県教委・県

陳情対談会　教育懇談会

PTAからの要望に県が回答しました

令和7年度の陳情内容（抜粋）

※1・2は重点要望

1 児童生徒の命と健康を守る安全対策

- **通学路周辺の環境整備**等、関係機関と連携した安全対策の推進。
- **SNSに関する問題行動**等の実態を把握し広く情報提供を行い、保護者、地域への啓発を目的とした講習会等の充実。

2 教育の充実を図る教職員配置

- **小学校における定数欠や中学校における教科欠**について、早急に解消していただきたい。
- いじめを始め様々な課題解決や学力向上に向けた**適正な教員配置**をお願いしたい。
- **中学校における部活動**において、部活動指導員を配置する等の予算確保と、指導者の資質向上に努めていただきたい。

3 教育環境の整備

- 義務教育の視点に立ち、**地域間及び学校間格差**が生じないよう教育環境の整備状況について、実態調査を徹底していただき、市町村教育委員会にご指導をお願いしたい。
- 全ての市町村において小中学校の体育館、特別教室等の学校施設が児童・生徒の使用に加えて避難所としての使用も想定されるので、**設備（空調・トイレ等）の充実**をお願いしたい。

4 生徒指導の充実

- **いじめ・不登校・虐待**等の実態把握の上、状況改善に向けて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等、小・中学校への配置時間の増加等の適切な配置。

5 PTA活動の振興

- 保護者が**働きながらPTA活動**を行えるよう企業等への働きかけをお願いしたい。

6 その他

- 県が実施している**コミュニティ・スクール導入促進事業及び地域学校協働活動事業**について、事業内容がまだ認知されていないことから広く周知されるよう広報活動等により事業の周知をお願いしたい。

陳情書を手渡す
鬼頭県P会長（9月）

県Pでは毎年、県に「小・中学生の青少年健全育成とＰＴＡ活動の振興等に関する陳情書」を提出しています。11月21日、県Pと県教育委員会（県教委）・福岡県による陳情対談会・教育懇談会が開催されました。陳情対談会では、県Pが9月に提出していた陳情書の重点要望について、教育庁や県の担当課が回答。続く教育懇談会では、よりざっくばらんに意見交換が行われました。

陳情の内容は、各単位ＰＴＡへのアンケートや保護者の声をもとに作成しており、県Pでは毎年の陳情を最も重要な活動と位置づけています。鬼頭県P会長は対談会の閉会の言葉として、「県から誠意ある回答をいただくことができ、感謝しています。私たちもお願いするだけでなく、県Pとしてできることはやっていきます。これからも県教委と手を組み、コミュニケーションを深めていきたいと思います」と語りました。

陳情対談会と教育懇談会の様子。
県Pからは会長、副会長、総務委員長ら12名が参加しました（11月）

Interview

総務委員長に聞きました！

小柳 翔太
総務委員長

―陳情に対する県からの回答はいかがでしたか？

どの関係課からも真摯で前向きな回答をいただくことができました。もちろん、すべてが期待どおりというわけにはいきませんが、少しずつ前に進んでいる手応えは感じましたので、「取り組んでよかった」と思えました。

また、懇談会では雰囲気も和らぎ、細かい部分まで話し合うことができて非常に有意義でした。

―毎年、陳情することの意義は？

何年も陳情し続けている項目については、それだけ解決が難しい課題ということでもあります。だからこそ毎年継続して陳情を行い、県にその背景を丁寧に共有し続けることが大切です。そうした積み重ねが、解決に向けた話し合いをより深めることにつながると考えています。

対談会では、県Pの皆さんも積極的に意見を述べられ、お互いの思いや考えを共有できて陳情内容への理解がより深まり、とても良い学びの機会になりました。

今回の陳情に対する県からの回答は、県PのHPから全文を読むことができますので、ぜひ皆さんにも読んでいただきたいと思います。

―ありがとうございました！

陳情内容と県の回答の全文を県Pホームページに掲載しています。ぜひご一読ください！

県教委通信

地域の子は地域で育てる！

「地域総がかりで行う不登校児童生徒支援事業」

近年、さまざまな理由で学校に通うことができない児童生徒の数が増加傾向にあり、その背景も多様化・複雑化しています。福岡県では、学校と家庭だけでは解決が難しい課題に対し、多様な支援のひとつとして、「地域総がかりで行う不登校児童生徒支援事業」を展開し、地域全体で子どもたちの学びと成長や社会的自立を支える体制づくりを進めています。

本事業では、市町村が主体となり、地域の公民館や図書館、コミュニティセンター等に子どもたちが安心して過ごせる居場所、通称「サポートスポット」をつくり、個々の興味・関心に応じた多様な体験や学習機会を提供しています。

大牟田市では、公民館内に居場所「ぱすてる」を開設し、週1回、スクールソーシャルワーカーが子どもサポーターの皆さんや、その日集まった子どもたちと一緒に、子どもたちのペースに応じた活動を作っています。おしゃべりやカードゲームなどを通してコミュニケーションをとったり、調理実習やさまざまな体験活動を行ったりすることで、子どもたちの社会性を育む場となっています。

こうした地域の活動は、子どもたちが社会とつながる大切な一歩を支えています。今後も、「地域総がかりで行う不登校児童生徒支援事業」へのご理解とご協力をお願いします。

大牟田市「ぱすてる」の様子

日本PTA全国研究大会

第73回 石川大会

「サステナブルな未来づくりのために」～創造と協働を　石川から～

8月22・23日の2日間にわたり、石川県立音楽堂コンサートホールをメイン会場として日Ｐ全国研究大会 石川大会が開催されました。1日目は8つの分科会でそれぞれの領域に関する研究を深め、2日目の全体会では「能登の創造的復興と学びの環境」をテーマに石川県副知事・浅野大介氏が記念講演。「ＧＩＧＡスクール」の導入と「未来の教室」の構想、全国各地の小さな町で進む教育環境魅力化の事例などについてお話しいただきました。

また、全体会アトラクションとして金沢の子どもたちによる「加賀とびはしご登り」が披露され、会場を沸かせていました。

全体会の様子

浅野大介副知事の記念講演

伝統の「加賀とびはしご登り」

分科会参加レポート

●特別第1分科会　研究課題　サステナブルなPTA活動を構築するために

基調提案で何度も言われていたのが「責任を分け合う」ということ。教職員のみに責任を押し付けるのではなく、学校・家庭・地域で「責任を分け合って」いかなければ、今の子どもたちが大人になったとき、人間関係が今よりも希薄になってしまうのではないかと感じられた。PTAからだけでなく学校からも啓蒙活動をしていくことで、学校の教職員の負担軽減に少しでもつながるのではないかと考える。（副会長　藤原健太郎）

●特別第2分科会　研究課題　学校教育における防災の学び

基調提案にあった「日頃からの人と人とのつながりが助かる命を増やしていく」という言葉が印象的でした。また、パネルディスカッションでは、家庭における防災意識をどう高めるかというお話や、学校運営協議会を中心とした地域での防災への取り組みの紹介を聞くことができました。（会長　鬼頭良典）

能登半島地震およびその後の豪雨災害から得た教訓を、学校教育にどのように活かすかについて、事例紹介と意見交換が行われました。「災害発生直後における学校と地域の迅速な連携の必要性」「避難所としての学校の役割と課題」「子どもたちへの防災教育を通じた『自助・共助』の力の育成」について学び、特に「日常の教育活動に防災の学びを取り入れること」の重要性を強く実感しました。（副会長　矢野愛）

●第5分科会　研究課題　学校が楽しくなる！仲間が集まる広報活動

オープニングアトラクションは、ダンスユニット「A's（エース）」による迫力あるステージ。参加者をもてなす気持ちと同時に、主催者自身も楽しみたいという姿勢が伝わってきた。

分科会全体を通して、広報の役割は単なる周知にとどまらず、交流やディスカッションの場をつくり、デジタルや工夫されたツールを活用することで活動をより活性化できると感じた。広報は情報を伝えるだけでなく、地域とPTAをつなぐ“場づくりの推進役”として今後ますます重要になる。（副会長　三木聖隆）

分科会参加レポート

●第３分科会【人権教育】

提言では大溝小PTAが「子供・保護者・地域がともに人権を学び合うPTA人権教育活動の実践」について発表。浅川中PTAの「解決志向アプローチ（SFA）」を取り入れた参加型・対話型の研修についても学びがありました。指導助言者の福岡市立内浜中の校長先生が言われた「ともかく動こう（知覚動考）＝知識を覚え動いて分析し、反省する」という言葉に共感しました。（副会長　松尾菜美子）

提言を行う大溝小PTAの古賀國弘会長と山浦伸介教頭

●第４分科会【教育環境】

第4分科会の様子

筑紫女学園大学・大西良准教授による講演で「質の高い睡眠環境」と「適切な睡眠時間」が子どもの成長に欠かせないことを実感した。アンケートでは、就寝1時間前にスマホ等を使用している子どもが7割にのぼるという。これからの時代を生きる上で子どもの睡眠をどう守っていくのか、私たち大人も真剣に考える必要があると強く感じた。

（副会長　下原仁美）

第70回 日本ＰＴＡ九州ブロック研究大会 福岡市大会

10月18・19日の2日間、福岡市内4会場で九Ｐ福岡市大会が開催されました。今大会のスローガンは「ＵＰ！ＰＴＡ！これからの未来を描くＰＴＡ」。1日目の分科会では6つの研究領域に分かれ、単位ＰＴＡの取り組みが発表されました。福岡県は第３分科会「人権教育」を担当。大木町立大溝小学校ＰＴＡが提言者となり、「クローズＵＰ！多様性と意識改革」のテーマで発表を行いました。

2日目の全体会では、俳優の速水もこみち氏が「食の道～料理は最強のコミュニケーションツール」の演題で記念講演。また、令和６年度のＰＴＡ活動で尽力した方々への表彰式も行われ、「きらりと輝く九州人大賞」で福岡県から行橋市立行橋北小ＰＴＡ・池田あつ子さんが大賞に、糸島市立南風小ＰＴＡ・成冨佳代子さんが九州ブロック協議会会長賞に輝きました。

※次号（3月号）の「キラリ✨オンリーワンP」で池田あつ子さんのインタビュー記事を掲載します。お楽しみに！

「きらりと輝く九州人大賞」で表彰される池田さん（下）、成冨さん（左）

主役！通信

楽しい学校に！

北九州

鞍手町立新延（にのぶ）小学校

新延小PTAは、行事等で、子どもたちが楽しく学校生活を送れるように、いろいろと考え協力しています。11月にはお世話になった方を招待して「ふれあい感謝集会」をしました。本年度はさらにポップコーンコーナーと射的、昔遊びなどのコーナーも取り入れました。1月には「どんど焼き」をしています。長い竹を組んで作るので迫力満点です。くじ引きもあり大いに盛り上がります。

また、PTA役員、新延小Ennoshitaの会、先生方とともに、除草作業を年に1度行っています。

鞍手町では令和10年に６校が統合され、一つの新しい小学校が誕生します。そのため、新延小として活動できるのは、あと２年と少しになります。地域、学校、家庭がつながり、子どもたちのことを温かく見守り、一年一年を大切に過ごしていきたいと思います。（新延小PTA会長　藤井智美）

「よいしょ、よいしょ」みんなでもちつき

どんど焼きの点火前。毎年恒例

除草作業後の集合写真。すっきりきれいになりました。お疲れさまでした！

地域とともに

京築

築上町立椎田（しいだ）中学校

椎田中PTAは、本年度からボランティア制を導入し、学校運営協議会をはじめ、地域の方と協力して活動を行っています。

地域全体で、「子どもたちを前向きに伸ばしていこう」という思いを込めて始まった「親子ふれあいうどん打ち研修会」は、本年度で20周年です。なぜ「うどん打ち」なのか？　それは、うどん打ちの過程を子育てと重ね合わせているからです。ダマにならないように注意しながら優しく小麦粉に水を混ぜ（幼年期）／コシのあるうどんにするために踏んで試練を与える（思春期）。そして、生地を延ばす時には方向を変えながら前向きだけに延ばす…うどん打ちと同じように「子どもたちを前向きに伸ばしていこう」という思いが込められています。

今後も、子どもたちを前向きに育てていけるように、地域・家庭・学校であたたかいつながりづくりに励みます。

（椎田中PTA会長　髙瀬里沙）

20年続くうどん打ち研修会

いのっ子チャレンジ

筑豊

田川市立小中一貫校 猪位金（いいかね）学園

「みんなといっしょにできてたのしかったです。来年はリーダーをがんばりたいです。」

これは「いのっ子チャレンジ」に参加した子どもの振り返りです。本学園では１～４年生を１期とし、４年生がリーダーとして活動します。

「いのっ子チャレンジ」はPTA主催の１期行事で、けん玉など５つのコーナーをまわり、最後にチームで協力して暗号を解く体験型イベントです。準備や運営はPTA委員が担い、保護者からは「子どもたちがイキイキしていた」「協力して喜び合う姿に感動した」との声が寄せられました。学校と保護者がともに子どもたちの成長を支える、本学園を代表する取り組みです。

（猪位金学園PTA会長　伊藤基樹）

「けん玉」。成功するまで委員さんたちも必死で声援を送ります

「ユニホック」。ゴールに向かって、球を打ちます。委員さんが危なくないように見守ってくれています

入った球の数で競い合う「アジャタ（玉入れ）」。委員さんたちは、玉が当たっても痛くないようにヘルメット着用です

＼単Pが PTA

【お詫び】
前号までのPTA通信に、一部の離島が掲載できていなかったことをご指摘いただきました。お詫びいたしますとともに、これを機に離島の学校の魅力にもしっかり目を向けた紙面づくりを心がけてまいります。

福岡　子どもの笑顔を創るために

那珂川市立安徳（あんとく）小学校

本校は、自然豊かな那珂川市の中でも住宅街に位置する、創立142年という歴史ある学校です。生活科や社会科、総合的な学習の時間に保護者だけでなく、多くの地域の方々がゲストティーチャーとして共育活動にも積極的に参加していることから、保護者や地域も「地域とともにある学校」としての意識を高くもっています。

PTA活動としては、「できる人が、できる時に、できることをして楽しむ」をモットーに活動を進めています。特に、毎月第1月曜日には「子どもたちと一緒に正門でのあいさつ運動」に取り組み、朝から気持ちのよいあいさつの声を響かせています。また、毎年12月の「安徳フェスタ」では、PTA役員や委員、ボランティアの有志で体験型ブースや、チャレンジ型ブース、創作活動ブースなどを企画・準備し、縦割り班で考動する子どもたちも楽しく学び、たくさんの笑顔とふれあいがあふれるフェスタをつくりあげています。

今後も、子どもたちの笑顔だけでなく私たちPTAも笑顔になる取り組みを創造していきたいと思います。

（安徳小PTA副会長　柳井美香）

あいさつ運動の様子

安徳フェスタ（イライラ棒に挑戦ブース）の様子

北筑後　子どもたちと家族、地域の方の絆造り

大刀洗町立本郷（ほんごう）小学校

本郷小学校では学校、地域、PTA共通の目標として「大人から　明るい　挨拶」という全体のテーマを掲げ、さまざまな活動を推進しております。コミュニケーションのはじまりである挨拶を、大人として手本を見せて、元気な挨拶ができる育成を目標の一つとしております。

その中での活動の一つである「家族ふれあいウィーク」をご紹介いたします。毎年10月度のPTA行事としまして、約１週間の家族とのふれあいテーマを選定して取り組んでいただくものとなります。日々忙しい中でもこの１週間は目標に向けて、子どもと家族のふれあいに意識をもたせ、家族の「わ」を築くきっかけを造るものとなります。終了後には、「わたしの感想」と「保護者の感想」を家族の中で共有することや、データを集計し次の目標設定に活かすことで、日頃の忙しい生活の中でも家族のふれあい時間を有効に活かすことができる活動となっています。このような活動をはじめとし、地域の方々やPTA全体としての関わりを大切にし活動に取り組んでいます。

（本郷小PTA会長　佐藤辰二）

「家族ふれあいウィーク」の取り組み

南筑後　本で育む豊かな感性

広川町立上広川（かみひろかわ）小学校

福岡県南部に位置する、フルーツや緑に囲まれた上広川小学校では、長年さまざまな読書活動に取り組んでいます。

先生や保護者、地域の方による読み聞かせや、朝の活動の時間に低学年が行う読み聞かせ、中・高学年はひとり読みをする「あさどく」、異学年ペアで読み聞かせをする「たてどく」、お家で親子で読み聞かせをする「うちどく」。その他にも、読書旬間や読書月間を実施。絵本コンシェルジュの資格をもつ学校司書が各学年に薦める本の「セレクト30」を読む取り組みや、１年生保護者を対象にした親子読書会を開き、学校・家庭・地域と連携した活動を継続して行っています。その背景には、読書で得られる想像力・読解力・語彙力等を大切にし、本の大切さを味わってほしいという先生方の思いが込められています。

令和４年度には学校図書館コンクール最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞いたしました。これからも読書を通し、子どもたちの豊かな心の育成をみんなで支えていきたいです。

（上広川小 PTA 会長　友野奈未）

読み聞かせをしている様子

第2回

キラリ✨オンリーワンP

個性がキラリ✨　取り組みがオンリーワン✨　そんな単位PTAが登場するこのコーナー。第2回は、前号で登場された藤吉小育友会の座談会の様子をお届けします。

今回のオンリーワンは…　柳川市立藤吉（ふじよし）小学校育友会

育友会は、みんなが主役！

藤吉小育友会の役員さんに、役員を受けた経緯や、ＰＴＡ活動のポイントを座談会形式でインタビューしました。その中で見えてきた、ＰＴＡ活動への想いをご紹介します。（藤吉小育友会　橋爪大輔）

※（　）内は所属と子どもの学年

―ＰＴＡ役員を引き受けた経緯について教えてください。

●いこサン（育友会・5年生）

正直、最初は気が進まない部分もあったが、子どもに「頑張りなさい」と言う前に、まず自分が知らない世界に一度入ってみて、その上で子どもの気持ちに寄り添いたいと考えたのがきっかけ。

●ひぐちサン（育友会・5年生）

いつの間にか入っていた。今は、中に入ってみて、大人側の意見を出し合い、それが子どものためになれば良いという気持ちでいる。

●くらもとサン（育友会・4年生）

子供会で「母の会」の役員を軽い気持ちで引き受け、くじ引きで会長になってしまった。しかし、母の会での活動を通じて、子どもや先生と触れ合う時間が増え、学校や学校生活の見え方が変わり、継続して活動したいと考えた。

●きくつぎサン（顧問会懇親会担当・6年生）

保護者として12年間、学校と関わっている。その中で得た学校の知識を活かしたいと考えていた。また、女性役員が少ない状況を考慮し、12年間の学校への恩返しとして引き受けた。

●いのうえサン（母の会監事・4年生）

４人の子どもがおり、小学校と長く関わっている。子どもの学校生活がより楽しいものになること、活動を通してそれを家庭に持ち帰り、親子のつながりや会話のきっかけが増えればいいという想いで活動している。

●つつみサン（母の会会長・6年生）

私も子供会で母の会に入り、くじ引きで会長になった。当初は硬く、厳しく、義務感のある活動だと思っていたが、実際は誰もが「一緒に考えて一緒にやろう」という姿勢で、一人でやるわけではないことを知りイメージが変わった。

●ざいつサン（父親委員担当・3年生）

以前は仕事も活動も他地域だったが、根底に「柳川で地域貢献をしたい」という強い思いがあり、職も柳川に変えた。現在は楽しく活動できており「行くとこまで行け」という気持ちで取り組んでいる。

●つつみサン（育友会学年委員担当・6年生）

７年前、現会長に誘われて入った。最初は会議が硬く、母の会会長が強い印象を受け非常に嫌だった。しかし、子どものためにと入って、自身が母校の卒業生であったため過去を知る人間がいても良いかと考え、７年間続けている。

●おおつ会長（育友会会長・5年生）

前会長に「俺を助けると思って」と「魔法の言葉」をかけられたのがきっかけ。今は自分一人では何もできないと感じており、暴走したときに止めてくれる仲間に恵まれたという印象。自身は「お飾り」のようなもので、メンバー全員が主役だと考えている。

★ＰＴＡ活動のポイントについて…

皆さん仰っていたのは、無理をせず、まずは自分が楽しむこと。そして、何でも自分がしないといけないわけではなく、できることをできる人がやるというスタンスで、みんなでやっていくことが重要であるという意見がありました。

さらに、お母さま方からは、夜間の会議が多いため、夫や家族の協力がないと、特に母親は参加しづらいという意見や、親が何をしているか子どもが分かっていると、子どもも協力してくれるという意見もありました。

★最後に、皆さんの想いに触れて…

役員を受けた経緯はさまざまでしたが、学校への感謝、地域への貢献、そして子どもたちのためにという想いがあふれていました。また、活動のポイントについては「まずは自分が楽しむこと」と、ほとんどの方が仰っていたことが印象的でした。何ごとも、知らないこと、分からないことにチャレンジするのは勇気がいると思います。しかし、「何かのために」という想いは、チャレンジしようとする背中を押してくれる気がします。

そして、子どもたちを想い、取り組むＰＴＡ活動は、ひいては学校や地域の豊かさにつながる…そう思えたひと時でした。

大募集！

このコーナーに登場してくださる単Pを大募集。自薦・他薦は問いません。どしどしご応募ください！

ご応募はコチラから➡

忙しい日々、アロマの力で癒やされて…♪

令和7年度 6ブロック母親代表研修会

ワークショップでは香りとお喋りで元気をチャージ！

9月15日、6ブロック母親代表研修会を開催しました。子育てや仕事、家事をしていく中で母親がいかにストレスフリーでいられるのか、リラックスできているのか。それが、子育てにどう影響するのか。ということに着目をし、看護師でアロマセラピストとしても活動されている小山路幸恵（こやまじゆきえ）先生に「アロマの癒やしの力」についての講話とアロマスプレー作りのワークショップを行っていただきました。

講話ではアロマの香りがダイレクトに脳の大事な部分に届き、自律神経等に影響を与えることを学びました。学んだ上で、3種類の香りの中から今の気分、直感で好きな香りを選び、和気あいあいと楽しくアロマスプレーを作りました。

その後、先生の講話を元に子どもとのコミュニケーションの取り方やリラックス法を伝え合いました。その中で、何歳になってもハグやハイタッチ等なんでもいいから子どもと触れ合う大切さ、そして1人の時間をもつことでママは笑顔でいられる、余裕ができる、それがいかに重要か。それぞれの話を聞き、良いことは吸収して家でも実践してみよう！と、「県Pで愛を叫ぶ～言葉にすることの大切さ～」のテーマに添った、笑顔あふれる、前向きになれる研修会となりました。

（北九州ブロック母親代表　西河佐江子）

PTAに対する印象がガラッと変わりました！

講師の幸恵先生

山際千津枝の

食べるってなあに

— マングースの独り言 —　Vol.130

やまぎわ・ちづえ
食をコミュニケーションツールと考えている料理研究家。その他エッセイスト・テレビ、ラジオのコメンテーター。現在は博多阪急デパートにおいて地下食品販売部アドバイザーを務める。

ご馳走…ごちそう

食事の後に「ごちそうさま」とか「今日はごちそうだね」とか普通に言っていますが、ごちそうを漢字で書くと「ご馳走」と書きますね。「馳走」は「駆け走る、走り回る、馬を走らせる」という意味。料理を作るための食材を手に入れるためにあちこちを走り回ることから、この言葉が使われるようになったのです。だから食事の後の「ごちそうさま」は食事を用意してくれた人への感謝の言葉なのです。もちろん、その食べ物を育んでくれた陽の光や、水や土への気持ちも込めています。

「ごちそうさま」「ありがとう」はとても美しい日本語ですが、日頃はあまり考えず習慣的に口にしている場合もあるかもしれません。ところが10月の半ば、仕事で訪れたある場所で心の底から「ごちそうさま」と手を合わせる料理に出会いました。

熊本県八代の1300〜1700m級の峡谷に囲まれた秘境。平家の落人の逃れた場所としても知られている「五家荘（ごかのしょう）」です。

熊本八代の泉で仕事でしたが、1日お休みをいただいてこちらに足を延ばし、民宿にお世話になりました。木々に囲まれた古民家でいただく夕食を楽しみにはしていましたが、品数の多さ、珍しい食材、素材の風味を損なわない薄味ながら深みのある味わいに圧倒されました。近所の商店で買ったようなものが一つもないのです。そもそも1時間以上車を走らせないとお店はありませんでしたが。

鹿の燻製、ヤマメの塩焼き、ニジマスのお刺身、干し筍とワラビの煮物、きめ細かくしっかりとしたお豆腐、季節の野菜の白和えに酢味噌和え、からりと揚がったムカゴ、親鶏の出汁で炊いた手打ちそば等々、とても数えきれません。デザートはイチジクとキンカンの甘煮と干し柿、梨とサツマイモのシロップ煮。お茶も水が良いので格別に香り高いのです。

「ごちそうさま。とても珍しいものばかり、美味しくて感動しました」と伝えました。宿の女将さんは「小さい頃からずっと親の手伝いをしていたので、掃除や料理や洗濯が大好きなのでちっとも苦にならないのです」。続けて「食材はご近所さんからいただくものも多いので助かります」と。

その時にガラリと戸が開く音がして女性が入ってこられて「たくさん裏庭で採れたから」と、前掛けからコロコロとムカゴをテーブルの上に。あまりのタイミングの良さに私たちは皆で顔を見合わせて笑い声をあげました。

幸せな秋の一日でした。

子どもたちが毎日食べている「給食」について学びました

令和7年度 PTA学校給食教室

子どもたちの健やかな成長に欠かせない「食生活」への理解を深めるためのPTA学校給食教室（主催／福岡県PTA連合会、福岡県学校給食会）が、10月3日・北九州地区、10月28日・福岡地区、11月12日・南筑後地区で開催されました。

福岡県教育庁体育スポーツ健康課指導主事から「学校における食育について」のテーマで講話があり、朝食の大切さや学校給食の役割などについて学びました。

その後は、お楽しみの調理実習。班に分かれて、実際の給食メニューを作ります。協力しながら和気あいあいと調理を行い、試食では「おいしいね」「こんな給食が出るなら安心」と笑顔が広がりました。

質疑応答・意見交換では、年間約190日、給食が提供されていることや、子どものアイデアを給食に生かす工夫、アレルギー対応のメニュー開発にも力を入れられていることなどが話題にあがりました。

（福岡地区）

実際に作って、食べてみました！

●献立
ご飯、さばのごま煮、ひじきと大豆の煮もの、味噌汁、牛乳
※味噌汁は写真には入っていません。

北九州

●献立
麦ご飯、鮭のもみじ焼き、小松菜と切干のごま和え、炒り豆、あかもくの味噌汁、牛乳
※炒り豆は写真には入っていません。

福岡

●献立
麦ご飯、ハニー梅の鶏ソテー、八女茶ご汁、牛乳

南筑後

参加者の感想

○調理実習は大人同士楽しく会話しながらでしたので、とっても料理が楽しく感じました。子どもたちにもこの楽しさが伝えられるといいなと思いました。まずは一緒に調理することにチャレンジします。
○身近な食材も当たり前ではないこと、温かい食事を誰かと一緒に食べられる幸せを子どもたちにも話してあげたいと思いました。
○福岡県全体の郷土愛をもたらすためにも、他地域の北九州、久留米、筑豊とともに学ぶ体験が子どもの頃からあると良い。
○約190日分のメニューをバランスを考えて作られているので、子どもたちの成長につながっていることを実感しました。
○保護者の関心としては給食費の無償化による良いことや弊害、現場のことをより詳しく聞きたいと思いますので、もう少し踏み込んだ内容でもいいかもしれません。

★レシピは公益財団法人福岡県学校給食会のHPで公開中！

科学館情報

☆イベント情報

1月10日（土）・11日（日）・12日（月・祝）

キッズチャレンジ
～めざせ！ホールインワク♪星
ブラックホールをそえて～

太陽系の惑星をモチーフにしたパットゴルフに挑戦したり、光るフォトスポットで記念写真を撮ったりして楽しく遊びながら惑星について知ることができるよ☆
参加したお子様にはプレゼントがあります！

☆コスモシアター番組情報

「プラネタリウム　ドラえもん　宇宙の模型」

スネ夫からハワイで見た満天の星に感動したという自慢話を聞いたのび太たち。満天の星を見た事が無いのび太は悔しがり、ドラえもんに相談すると、室内にいながら旅行気分が味わえるひみつ道具『室内旅行機』を取り出し、のび太の部屋にハワイの満天の星を映し出してくれました。ドラえもんから、人は太古の昔から星空を見て、それぞれに思いを巡らし、宇宙を理解しようとさまざまな「宇宙の模型」が作られてきたという話を聞きます。
宇宙の姿を確かめるために、マイクロコピーで本物の宇宙を完全に再現している『天球儀』の中へ入るのび太たち。宇宙船に乗って宇宙旅行に出かけるも、ブラックホールへと近づきすぎてしまい吸い寄せられそうに！のび太たちは無事に地球に戻ることができるでしょうか！？

©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

「平原綾香　いのちの星の詩　～SPECIAL EDITION～」

宇宙に地球が誕生し、やがて命が生まれ、育まれてきた。数えきれない偶然と絶妙なバランスによって守られた地球。はるかな時を超えて今、この星に生まれ、大切な人と出会えた奇跡。その奇跡のストーリーを平原綾香さんの深みのある歌や優しい語りとともにお届けします。クライマックスは名曲『Jupiter』とともに人類の探究心を翼に壮大な宇宙への旅へ。

きらめく星空とともに、いのちのストーリーをお楽しみください。

©コニカミノルタ プラネタリウム株式会社

福岡県青少年科学館　久留米市東櫛原町1713
☎ 0942−37−5566（代）　FAX 0942−37−3770

ナニコレ珍P百景

学校や地域の面白ネタを紹介！

創立150年を祝う

筑後市立羽犬塚（はいぬづか）小学校PTA

明治６年創立から150年。筑後市立羽犬塚小学校はこの大きな節目を祝し、令和7年11月1日に記念式典を開催しました。

この式典に向けては25年前、当時の児童たちが将来の自分に向けてタイムカプセルを埋めたところから始動。式典の部ではその開封動画の他にも、校庭での人文字作成などが上映され、感慨深いものとなりました。また、講演の部では下町ロケットのモデルとされる植松努氏をお招きし、「思うは招く」のテーマでご講演いただきました。

羽犬塚小学校は、これまで築かれてきた歴史と伝統を大切にしながら、これからも子どもたちの夢と希望を育む学び舎として歩み続けていきます。

（副会長・親代表　角　朋弥）

★「羽犬伝説」を知っていますか？★

筑後市では、背中に羽を持つ伝説上の犬「羽犬（はねいぬ）」にまつわる物語が、約400年前から語り継がれています。

「羽犬」のモニュメント

筑後市内には羽犬をモチーフにした像やモニュメントがあるよ！探してみてね♪

「羽犬伝説」から生まれた筑後市のキャラクター「はね丸」

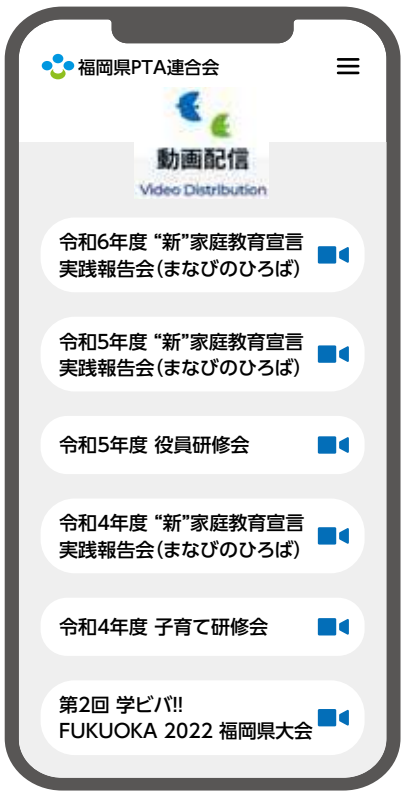
大募集

このコーナーに登場してくださる人・モノ・コトを募集しています。学校や地域の面白ネタをお寄せください！

ご応募はコチラから➡

研修会の動画配信中

貴重なお話が聞けます！ぜひご覧ください。



ホームページ
↓
活動報告
↓
ひろば

パスワード：manabi

ブックマークしておくと便利です！

◎研修会の日程確認
◎資料の閲覧もOK

小・中学生総合保障制度 ご案内［こども総合保険］

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします

補償内容を動画でcheck

賠償補償
お友達にケガをさせる

自転車事故

育英費用補償
扶養者が事故で重度の後遺障害

身体の補償
通学中のケガ

日常生活中のケガ

トラブル被害対応補償
SNSでの悪口

【2025年10月現在】

■制度に関するお問合せ先（取扱代理店）
株式会社コーリン（福岡県PTA連合会 保障制度事務局）**0120-228-553**
受付時間／平日 午前9:00～午後5:00
〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F　https://www.pta-corin.com/

■引受保険会社（幹事会社）AIG損保（非幹事会社）東京海上日動，損保ジャパン，三井住友海上，CHUBB
○この広告は「小・中学生総合保障制度（こども総合保険）」の概要についてお伝えしています。
ご加入の際は必ずパンフレット及び重要事項説明書をご覧ください。

S-250567(2026-09)